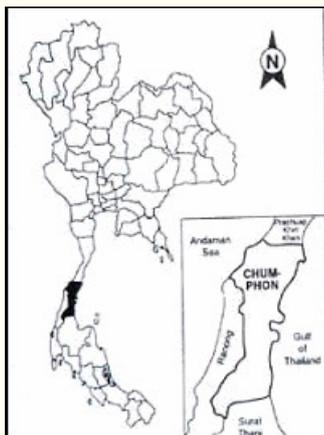


## 10. チュムポン県



チュムポン県は、タイ国南部地域の北寄りに位置する県です。バンコクから約490キロ離れた位置にあり、面積はおよそ6,000平方キロです。北はプラチュアプキーリーカン県、南はスラートターニー県、西はラノン県とミャンマー国に接しています。そして東側はタイ湾に面しています。

同県は東西の幅が狭い長方形の形を呈しており、その東西の幅は平均して36キロほどです。東側はおよそ222キロに及ぶ海岸線に沿って平坦な土地が続いています。季節は2月から5月が暑季で、6月から1月までが雨季となっています。

チュムポン県は経済状況が比較的安定しています。

人口の約75%が農業や漁業に従事しており、主な農作物はゴムの木、アブラヤシ、コーヒー、ココナツ、パイナップル、ドリアン、ランブータン、バナナ、マンゴスチンです。特にコーヒーは国内最大の栽培面積を有し、主にロバスタ種を栽培しています。

また同県は長い海岸線を有し、50に及ぶ島々が点在するため、漁業においても重要な拠点となっています。エビや貝類、カニ、魚の養殖もさかんに行われています。

このほか、ツバメの巣の採集も行われています。チュムポン県は良質で大きなツバメの巣の産地の一つとされています。これは政府が民間企業にチュムポン県内の島々10ヶ所においてツバメを飼育する権利を付与したことにより、ツバメの巣の収穫量が国内一となっているのです。



チュムポン県は、自然豊かな観光資源に恵まれています。なかでも美しい砂浜や澄み渡った海、見事な珊瑚礁は、シュノーケリングやダイビングには欠かせない場所です。船で30分ほどの位置にあるチュムポン諸島はキャンプや釣、スキューバダイビングに最適なスポットとして旅行者の間で有名です。

